

会議所6月の動き

- 1日(金)・新発田うまいもの市 オープニングセレモニー
- 2日(土)・日本百名城スタンプラリー出発式
- 3日(日)・城下町しばたもちもち会総会
- 4日(月)・マル経審査会
・商工会議所監査会
・正副会頭会議
- 5日(火)・建築士会新発田分会総会
・武庫会総会
- 6日(水)・新発田地区労働保険事務組合協議会総会
・北越銀行新発田支店 平成19年3月期決算説明会・懇談会
・新潟県青色申告会連合会総会(～7日)
- 7日(木)・平成19年度県警察友の会定期総会
・しばたショッピングセンター店舗運営管理協議会
- 8日(金)・2007年度オレンジ会総会
- 11日(月)・東部商工連絡協議会総会
- 13日(水)・マル経審査会
- 14日(木)・中心市街地県民意識・消費動向調査説明会
・特別検討委員会
・第1回「企業・地域社会と学校のネットワークづくり」協議会
- 15日(金)・新発田市建築設計協同組合総会
- 18日(月)・新発田税務署管内税務団体協議会総会
- 19日(火)・新発田市(天王祭礼)臨時露店管理運営委員会
・新発田エネルギー懇談会第30回定時総会・記念講演会
・新潟県労働保険事務組合連合会平成19年度定時総会
・平成19年度城下町新発田まつり開催実行委員会
・新発田倫理法人会設立記念式典
- 20日(水)・第2回「食のアスパラ横丁、味めぐり」開催実行委員会
・日商委員会～21日(株)カリアック第15回定時株主総会
- 21日(木)・営業マンセミナー
- 22日(金)・新発田信用金庫総代会
- 26日(火)・第10回全国「花嫁人形」合唱コンクール実行委員会
第1回会議
・接客セミナー
・正副会頭・特別検討委員会 合同会議
・新発田市専門店協同組合 平成19年度通常総会
- 27日(水)・常議員会
・通常議員総会
- 28日(木)・平成19年度新発田市租税教育推進協議会 定期総会
・平成19年度第1回新発田市健康づくり推進協議会
・(株)しばたショッピングセンター第10期定時株主総会
- 29日(金)・新発田城復元の会役員懇談会

「資産管理についてー貯蓄から投資へ」 資産大移動時代の到来 「貯蓄から投資信託へ」

国内家計における現金・預金から投資信託への資金シフトが加速しています。今年五月末時点で公募株式投資信託の純資産残高は六十五兆円と、一年前と比較して二十兆円の増加となっており、最近では月当たり残高純増が二兆円に接近する勢いとなっております。もっとも、日本の家計金融資産を見ますと、資産の分散化が進化したとは言いがたい状況にあります。今年三月末時点で現金・預金が以前五十%を占める一方で、

一方「国内株式型」からは若干ではありますが、ここ一年資金流出の傾向が見られます。これら「売れ筋」の投資信託は「団塊世代」を中心とする、どちらかといえばこれまでリスク資産投資の経験がない高年齢層に対し、退職金の運用対象として、①長期投資対象としての安定性 ②定期的な「分配金」という特性を訴えるという点を共有しています。しかし、定期的な「分配」を確保するには、ある程度以上の運用利回りを確保することが不可欠であります。代表的な「バランス型」商品で外国債券の組み入れ比率が八十%弱となっていること、「配当重視外国株式型」では、配当利回りで三%以上の株式が概ねを占めることが示唆的であります。他方、日本株では、大型ファンドを組成しようとする二%を超える配当利回りを実現するのが難しくなっております。以上の点を勘案するならば、日本の個人マネーの海外債券・海外株式へのシフト傾向は当面持続する可能性が高いといえると思われます。

※「野村週報」二〇〇七年七月九日号より抜粋。

野村證券 新潟支店
ファイナンシャルアドバイザー課
青柳 加代子
025(225)7755(代)